

2023年5月吉日

関係各位

(一社) 日本エルピーガス供給機器工業会
調整器技術 WG

ガス検知器ご使用時の注意点について (お願い)

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、ガス検知器でガス漏れを検知した調整器についてメーカーで検査を行った結果、異常が発見されないケースが散見されております。その要因としましては、①一時的に挟まっていた異物によって圧力が上昇して安全弁が作動し、その後、異物が外れた、②温度変化等により検査の直前に安全弁からのガス放出が行われていた(正常動作)のほか、③ダイヤフラム等から透過したLPガスを検出したものなどが考えられます。

つきましては、ガス検知器をご使用になってガス漏れを検知された際は、メーカーに調査依頼される前に検知液や自記圧力計を使用した漏えい検査を実施していただきたく存じます。別紙をご参照のうえ、ご協力くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

ガス検知器ご使用時の注意点について（お願い）

1. ガス検知器について

ガス検知器は、空気雰囲気中の LP ガスを検出する高精度な機器であるため、調整器などの供給機器に近づけて使用すると、ガス漏れ以外（ダイヤフラムからのガス透過等）を検出してしまうことがあります。

また、LP ガス以外にも一部の検知液（リークチェックスプレーやせっけん水）に反応することが供給機器メーカーによる実験で確認されています。

2. ガス検知器でガス漏れを検出した際のお願い

実際にガス漏れが発生しているのか、それ以外の要因であるのかを確認するため、検知液や自記圧力計等を使用して漏えいの有無を確認してください。

3. ガス検知器の使用時の注意点について

① 調整器の通気口に近づけすぎない

ガス検知器を調整器の通気口に近づけると、ダイヤフラム等のゴム部品を透過した LP ガスに反応してしまうので、通気口に近づけすぎないようにしてください。

② ガス検知器の感度を下げる

ガス検知器は空気雰囲気中の LP ガスを検出する高精度な機器なので、供給機器まわりのガス漏れを確認する際は、検出感度を下げてください。（感度を下げた場合であっても通気口に近づけすぎると、ガス漏れ以外を検出することがあります。）

③ 設備まわりの空気を入れ替える

直前に安全弁が作動していた場合、設備まわりに安全弁から噴き出した LP ガスが滞留していることがあります。ガス検知器が反応した際は、別の方法で漏えいの有無の確認をお願いする次第ですが、検査の前にうちわ等でまわりの空気を入れ替え数分後にガス検知器による再検査を実施するのも有効だと考えます。

④ 検知液を確認する

ガス検知器と併せて検知液による漏えい確認を行う場合、事前に検知液がガス検知器に反応しないことをご確認ください。

以上